



CSR  
REPORT  
2009

みなさまに信頼され必要とされる企業であるために

# CSR REPORT 2009

みなさまに信頼され必要とされる企業であるために

目次	P2
トップメッセージ	P3
事業活動と社会的責任	P4
事業概要(会社概要)	
新・創業宣言	
行動基準10ヶ条	

## コンプライアンス P6

シーレックスグループ「倫理綱領」  
コンプライアンスの推進  
コンプライアンスの推進体制  
コンプライアンス教育  
相談窓口の設置  
公正な外注取引への取組  
危機管理体制の整備

## 品質保証 P9

品質保証の推進体制  
2008年度の活動  
2008年度「教育内容」  
情報リスクマネジメント  
プライバシーマークの取得  
2008年度「教育資料」

## 社会性パフォーマンス P11

2008年度人財育成  
基本的人権の尊重  
労働安全衛生  
健康管理・健康増進  
メンタルヘルス  
A E D (自動対外式除細動器)  
防災対策  
地域社会との共生  
全社一斉清掃530活動  
近隣の小学生の工場見学  
マッチングギフト  
エコキャップ運動の推進

## 環境パフォーマンス P14

環境保護対策  
環境教育  
チーム-6%  
化学物質管理  
グリーン購入の推進  
エコフラッグ  
環境マネジメントシステムの推進  
エコプロダクト・環境配慮型製品  
環境ビジョン2008年度評価  
省エネルギーへの取り組み  
廃棄物の再資源化への取り組み  
環境経営の推進

# トップメッセージ

## 社会に貢献し 社会から信頼され、必要とされる企業をめざします

わたしたちシーレックスは事業活動そのものである“ものづくり”を通じて、社会に貢献し、社会から信頼され、必要とされる企業をめざし、創業以来「創造」の精神を原点に歩んでまいりました。

近年世界では気候変動による被害が多発し、資源の枯渇など地球環境の変化が、人間社会に大きな危機をもたらしています。わたしたちは従来の大量生産・大量消費・大量廃棄の社会的モデルから、環境負荷の少ない資源循環型の社会モデルに変革しなければなりません。

社会に貢献し、信頼され、必要とされる企業であり続けるために、わたしたちシーレックスは経済的側面を追求するだけでなく、社会的側面や環境的側面にも目を向け、法令・企業倫理を遵守し、CSR活動を推進しています。

## より良い社会・持続可能な 社会の実現に向けて

### = CSR活動の推移 =

わたしたちシーレックスは2004年に、創業以来培ってきた伝統と将来への展望を視野に入れ、「新・創業宣言」を作成しました。「新・創業宣言」は、「企業理念」、「経営理念」、「お客様の定義」、「ミッション」、「企業価値」そして「行動基準10カ条」から構成されています。

2005年にはCSR推進室を設置。活動規準として「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、役員および従業員一人ひとりが自己規律を持って、法令、企業倫理および社内規則、社会規範を遵守し行動していくことを宣言しました。

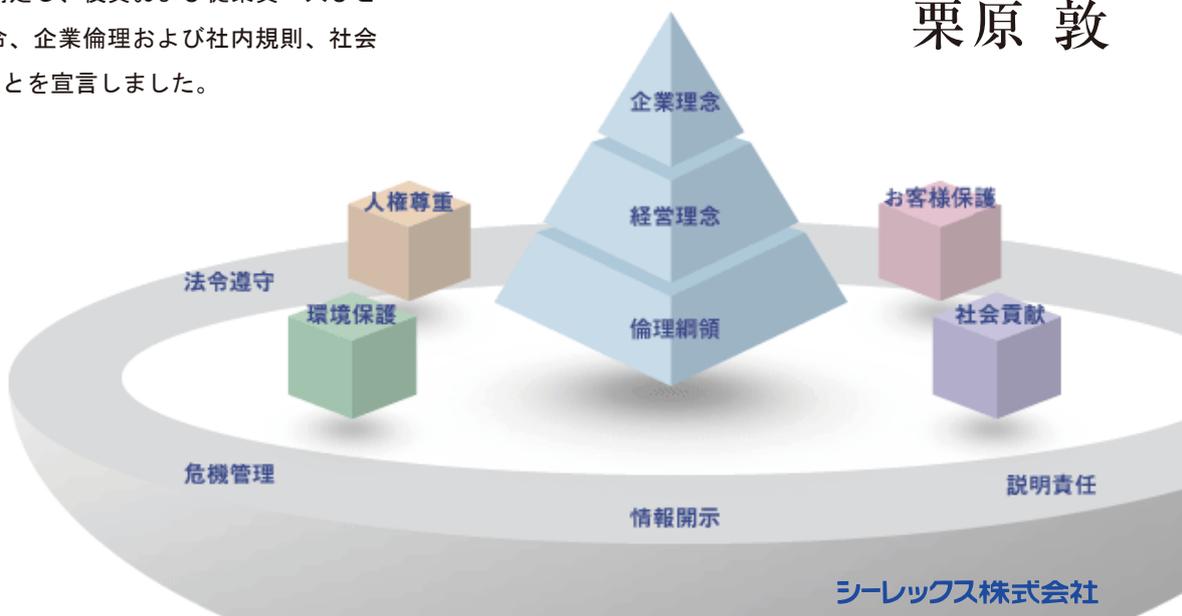
2007年からは、「人権尊重」・「お客様保護」・「環境保護」・「社会貢献」をCSR活動の4つの柱とし、積極的なCSR活動を行っています。

## 環境経営の推進

2009年度、わたしたちシーレックスは、単に地球環境に配慮した経営ではなく、「環境保全」と「利益創出」の同時実現を可能にする「環境経営」を経営方針に掲げ活動してまいります。

2009年5月  
シーレックス株式会社 代表取締役社長

栗原 敦



# 事業活動と社会的責任

Seal"+ "Extension"="Sealex"

シール印刷の可能性の拡大に向けて加速中です。

イマジネーションの翼を  
広げて、未来へ。



商品の顔としてのシール・ラベル。

なくてはならない情報を知らせるシール・ラベル。

迅速に商品の情報を読みとるためのシール・ラベル。

セールスプロモーションの趣旨を楽しく伝えるシール・ラベル。

シーレックスは、さまざまなシールラベルの開発と進化の全てに関わり、その可能性を拡大させてきました。

社名“Sealex”の由来は“Seal+Extension”。まさに「可能性の広がり」そのものをその名に託しています。

そしてシーレックスは、いま新たな一歩を踏み出しました。つねに商品に魅力的な付加価値をもたらすシール・ラベルの世界を基盤に、人と人とのコミュニケーションを広げる新しい情報発信メディアの世界へ。Imagination（想像力）の翼を身体いっぱい広げて、シーレックスは次代への挑戦を加速させます。



## 企業理念

創業者の精神・伝統の原点「創造（クリエイティブ）」創業以来、シーレックスの歴史はまさに「創造」の連続でした。日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売。製版の内製化。一連の業務のコンピュータ化。SPシールの製造及びカタログ販売。多層ラベルの製造販売など過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい需要、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

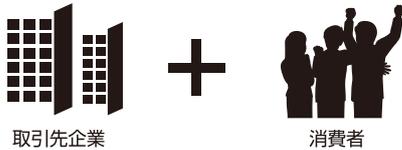
## 経営理念

経営者の哲学・思考

シーレックスは「高い志をもってあらゆることに挑戦する気概に満ち溢れる会社」「変化に柔軟に対応して世の中の半歩先を行く意味でのタイムリーでスピーディーに実行する会社」「他社、他人には絶対に負けない匠をもっている会社」になることを理念としていきます。

「挑（チャレンジ）」  
「速（スピード）」  
「匠（プロフェッショナル）」

## お客様の定義: シーレックスのお客様の範囲・定義



シーレックスのお客様はこれまで実際にご注文を頂いている「取引先企業」が全てでした。しかし、企業の社会的責任の範囲が広がってきたことから実際に我々の作り上げたシールラベルを実際に手に取り、見て、読んで、使用される「消費者」の方々まで「お客様」の範囲を拡大することが急務であると考えます。従って、シーレックスの社員には常に「取引先企業」そして「消費者」の方々のことを考えて仕事を進めていくことが求められます。

## ミッション: 企業としての存在意義・基本的な使命

お客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する。

シーレックスがこの世に存在する意義は何なのか？シーレックスがこの世に存在し果たすべき使命は何なのでしょう？それは時代時代に移り変わるお客様の要求に応じたシールラベルを提供することによって、お客様の毎日の生活に「安心」と「便利」を提供することであります。また、我々が作り上げたシールラベルの品質、価格、納期などについてお客様に「満足」を提供すること、更にはお客様がシールラベルを見たり、触ったりすることによってお客様の生活に「悦び」を提供すること。それがシーレックスの存在意義であり使命です。

## 企業価値: お客様に提供する価値の本質を凝縮して一言で表現したもの

ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア

シーレックスがお客様に提供するべき価値は何なのか？同業他社ではなくシーレックスをお客様に選んで頂くための価値をどこに求めるのか？それは、ただ単にお客様から頂戴した原稿をもとにシールラベルを印刷加工し、お客様に提供するというだけでなく、ラベリングシステムやプリンタといったハードと、キャンペーンシステムや企画広告といったソフトを、ありとあらゆるシールラベルと一緒に、小ロットから大ロットまで、多くの種類を、短納期で、廉価で、24時間、365日提供することが出来る会社です。シーレックスがお客様に提供する価値を一言で言えば、「ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア」です。

## 行動基準: 社員に対して日常的に期待される行動指針

シーレックスで働く人々が毎日の仕事に取り組む上で常に念頭において行動して欲しい基準

### 【行動基準10カ条】

- ①お客様の要望に応え、お客様の問題・課題を解決し、お客様の信頼を勝ち取り、お客様を創造する。
- ②新しいアイデアを常に創造し、実行し、そして社会を変革し、社会に貢献する。
- ③何事にも積極的に挑戦し、困難や競争から逃げず、最後までやり遂げる。
- ④当たり前のこと、基本的なこと、平凡なこと、小さいことの積み重ねを徹底し、確実に、正しく行う。
- ⑤いつも明るく、元気に、物事をプラス思考し、未来に希望を持ち、未来を創造していく。
- ⑥ひとりひとりが自立し、仲間とのコミュニケーションを促進し、智恵をだしあい、互いに成長していく。
- ⑦常に変化に適応し、やる気をもって、スピードをあげて実行する。
- ⑧良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動していく。  
⇒【環境方針】
- ⑨常にお客様の品質、価格、納期要求を満たす製品を提供し続ける。  
⇒【品質方針】
- ⑩個人に関する情報の重要性を理解し、安全かつ正確に徹底的に管理、保護する。  
⇒【個人情報保護方針】

シーレックスグループでは、役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼され、必要とされる企業を目指して事業活動を進めています。

## 社会から信頼され必要とされる企業を目指して

シーレックスでは、コンプライアンスを単なる法令遵守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた規範の遵守と位置づけています。2004年に制定した「新創業宣言」には行動基準10ヶ条、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、役員および従業員一人ひとりが自己規律をもって、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と浸透を図っております。

### シーレックスグループ 「倫理綱領」

私たちシーレックスグループは、公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在でなければならない。そのため経営の根幹となるコンプライアンス（倫理・法令の遵守）の基本を、グループで共有し意識し徹底するために、「シーレックスグループ倫理綱領」を定め、コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。



### シーレックスグループ「倫理綱領」 《顧客、取引先、他社、社会との関係》

#### 1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し、また自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

#### 2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

#### 3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

#### 4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外の使用はしません。

#### 5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

#### 6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行なわないよう努めます。

#### 7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

#### 8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

#### 9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

#### 10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

## シーレックスグループ「倫理綱領」 《従業員との関係》

### 1. 人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

### 2. プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

### 3. ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント（嫌がらせ）につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

### 4. 政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

### 5. 勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

### 6. 会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

### 7. 健康的な職場環境の維持

私たちは、健康的で安全で働きやすかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

### 8. 正しい報告

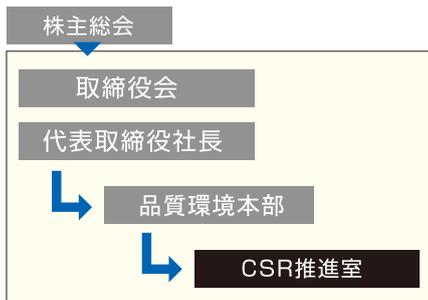
私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

## コンプライアンスの推進

企業が社会的責任を果たすためには、社員一人ひとりが法令遵守と企業倫理を徹底することが必要です。

## コンプライアンスの推進体制

シーレックスでは2005年4月にCSR推進室を設置し、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と教育を行っております。



●コンプライアンス推進体制

## コンプライアンス教育

2004年に「新・創業宣言」、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」制定し、これらを確実に実践していくために、シーレックスグループで働く全員が、知らなくてはいけない、そして絶対守らなければならない、主要な法令を中心にした「コンプライアンス（法令遵守）ブック」を作成しました。2008年度には改訂版の作成と「経営倫理」について、コンプライアンス教育に組み入れました。



●コンプライアンス（法令遵守）ブック



●企業倫理相談窓口ポスター



## 企業倫理相談窓口の設置

シーレックスでは2006年7月に「シーレックス株式会社 企業倫理相談窓口設置規程」を制定し、内部通報制度を開設し、運営を継続しています。通報を受け付ける窓口を「CSR推進室室長」、社員だけではなく、パート・アルバイト・派遣及び関連会社の従業員ならびに取引事業者の従業員が利用できます。万が一、法令・社会規範・会社規程（ルール）・シーレックスグループ倫理綱領に違反する行為を発見した場合、速やかに上司、若しくは企業倫理相談窓口へ連絡する仕組みで構成され2006年4月施行の「公益通報者保護法」に準拠しています。

## セクハラ・パワハラ・メンタルヘルス相談窓口の単一化

セクシャルハラスメント・パワーハラスメントとメンタルヘルスの外部機関に設けていた相談窓口を、2008年度に単一化しました。

**セクハラ・パワハラ相談／心とからだの健康相談**

- ・今、不安に思っていることはありませんか？
- ・気軽に相談できる友人・知人がいない。
- ・職場環境で悩んでいる。
- ・よく寝れない。・・・など

2008年8月1日（月）より「セクハラ・パワハラ相談」と「心とからだの健康相談」の窓口が単一化されます。

●相談窓口：ワエルリンク株式会社  
電話：0120-656-387（フリーダイヤル）受付時間：（受付時間）9時～17時  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

●相談の方法  
電話・電子メール・郵送

シーレックス株式会社 CSR推進室

## 公正な外注取引への取組

### ●下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、当社は数多くの協力事業者によりご支援をいただいています。

公正な外注取引の実現に向けて、特に下請法の遵守については、個々の外注取引を管理する窓口部門に対して、教育および情報提供を実施しております。

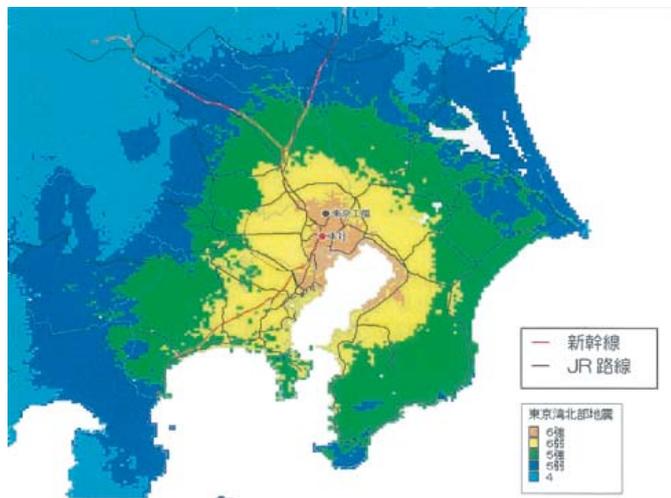
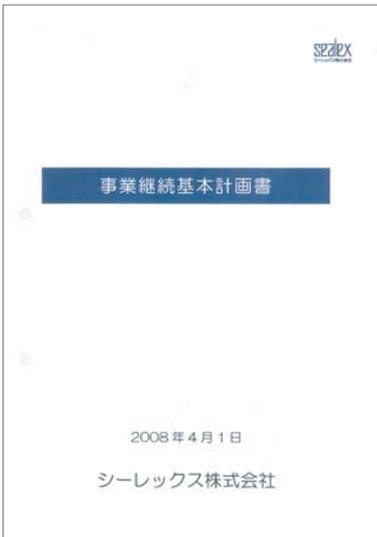
### ●基本取引契約書の取り交わし

当社では、すべての協力事業者の間で「基本取引契約書」を取り交わし、公正かつ透明性の高い外注取引慣行の確保運用に努めています。



## 危機管理体制の整備（シーレックス事業継続計画書の策定）

昨今、大地震や大規模風水害などの自然災害、製品事故、情報システムの障害など、企業の経営基盤を揺るがす様々なリスクが続発しています。このような被害を未然に防止、回避させるため、また発生した場合には被害、影響を最小限にするためにBCP（事業継続計画）が必要となりました。当社では2007年度に工場中心のBCPの作成、2008年度は首都圏直下型地震を想定と新型インフルエンザ対応としてのBCPを作成しました。新型インフルエンザは、鳥インフルエンザ（H5N1型）が変異し、新型インフルエンザになり、ヒトからヒトへの感染が起り始め、数十年に一度の世界的な大流行（パンデミック）起こすと危惧されています。

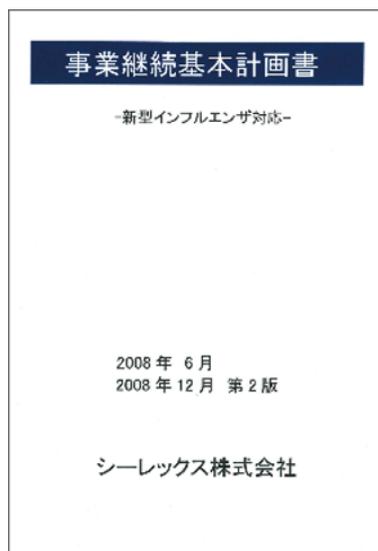


東京湾北部地震の規模

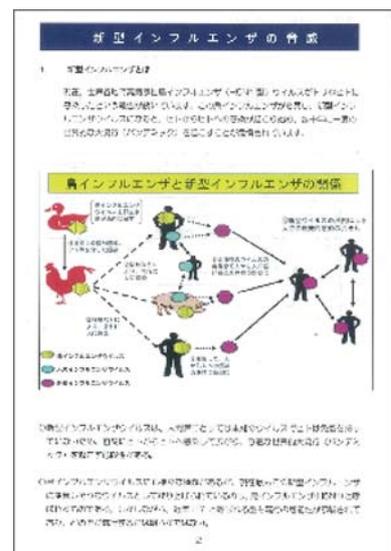
### 事業継続基本計画書

新型インフルエンザ対応

1. 新型インフルエンザとは
2. 鳥インフルエンザとインフルエンザの違い
3. 新型インフルエンザ発生時の準備  
(危機管理体制、情報収集)
4. WHO(世界保健機構)の流行
5. 外務省による感染症危険情報
6. 感染経路と感染予防
7. 感染した場合の対処
8. 企業存続のために 等



事業継続計画書 インフルエンザ



インフルエンザの脅威

2009年度 シーレックス事業継続計画書に沿った訓練の実施と運用の見直しを行い、事業継続マネジメントとして展開していきたいと考えております。

## 品質保証（お客様のために）

### お客様と、ともに築く品質保証マネジメント（QMSの維持・改善）

シーレックスは、お客様へ、常に最良、最適の品質をご提供するために、全社的な品質保証の強化を推進しています。顧客満足の上昇を目的にQMSの維持・改善に取り組んでいます。

#### 品質保証の推進体制

シーレックスの品質保証体系は

- ① 供給製品自体の要求事項への適合
- ② モノ造りに携わる人への力量教育
- ③ 製品を作る上での管理施策
- ④ 製造に伴う設備機器と環境整備

など、顧客満足向上を目指し、品質保証マネジメントシステム（QMS）の維持・改善に全社を挙げて取り組んでいます。

#### シーレックス品質方針

シーレックス株式会社は、シール・ラベルの製造において、顧客満足の向上を目指すために、全員で品質マネジメントシステムを確立し、品質の継続的改善・向上を行う。

2001年12月18日 制定

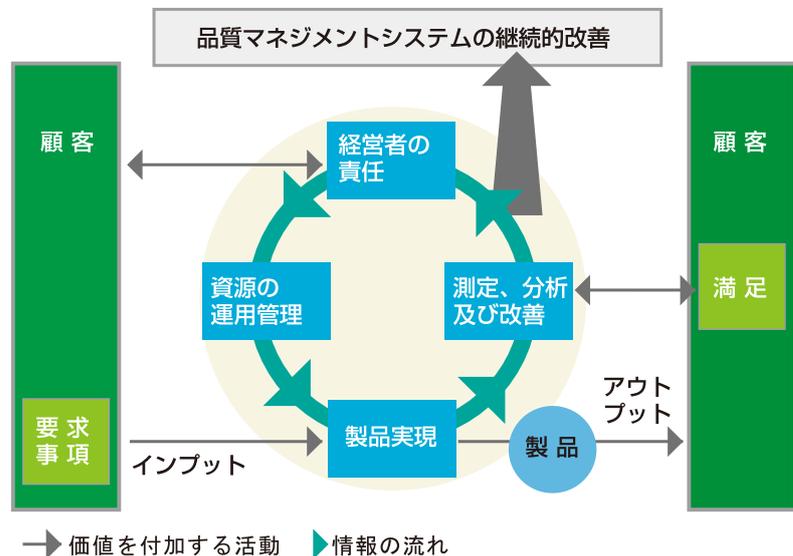


● JISQ9001:、ISO9001:2000を認証

#### 2008年度の活動

シーレックスが考える「品質保証」は単に生産部門や品質保証部門だけが携わる問題でなく、お客様に対し最良・最適の品質を適正な価格で納期通りにお届けするため、営業・開発、企画から製造・デリバリーに至るすべての工程において品質を保証

するという考え方で取り組んでおります。2008年度においては、品質マネジメントシステム活動がより有効に機能させるため、3つのマネジメントシステム（ISO9001・ISO14001・JISQ15001）の同時教育を行いました。



#### 2008年度「教育内容」

教育テーマ・・・「何をしなくてはならないのか」→「自主管理レベルの向上を目指す」

- ① 品質／環境／個人情報保護の各マネジメントシステムに適合することの重要性と利点
- ② 品質／環境／個人情報保護の各マネジメントシステムに適合することの役割及び責任
- ③ 品質／環境／個人情報保護の各マネジメントシステムに適合することの違反した際に予測される結果
- ④ 製品事故の撲滅を目指して！未然防止の施策
- ⑤ 環境保護のための「禁止化学物質／環境負荷物質」の管理および排除について
- ⑥ 事故メカニズムの情報展開

シーレックスでは「教育訓練」を通じて「自主管理レベルの向上」を図り、マネジメントシステムの運用により、お客様の期待を上回る成果を出し、お客様の満足を高め、世界一の品質を実現する原動力として日々改善に努めております。また、今年度はISO9001:2008規格に対応させるための準備を進めております。

#### 2008年度 教育・監査計画書

サイト/部門	教育日程	監査日程
東北工場/東北営業所	9月24日(水)→26日(金)	10月21日(火)→23日(木)
いわき営業所	10月23日(木)	
東京本社(版磨オフィス)	9月17日(水)→19日(金)	10月16日(木)、17(金)
東京工場(足立)	9月18日(火)	10月15日(水)
名古屋営業所	10月10日(金)	
京都営業所	10月9日(木)	
大阪支店	9月8日(水)→11日(木)	10月8日(水)
広島営業所	9月30日(火)	
福岡営業所	9月29日(月)	
兵庫工場	9月3日(水)、4日(木)	10月2日(水)、3日(金)

・各部門の教育、監査のご協力をお願いします。  
・教育/監査の担当者は、監査員研修で決めます。  
・日曜、時間等の詳細は担当者より連絡しますので、時間調整等が必要な場合にお申し付け下さい。

▽日組表

# 情報リスクマネジメント

## お客様からお預かりする個人情報の安全管理は私たちの命題です。

シーレックスは「個人情報保護方針」を掲げ、すべての社員に情報管理の適正な運用、情報取り扱いにおける事故撲滅を命題として推進しております。

### プライバシーマークの取得

シーレックスは2003年にプライバシーマーク（JISQ15001）を全社で取得以降、管理体制の構築を推進しています。2006年に規程およびコンプライアンスプログラムを抜本的に見直し、プライバシーマーク（JISQ15001:2006）に適合した個人情報保護マネジメントプログラム（PMS）を構築して個人情報の安全管理に取り組んでいます。

### 社員教育

シーレックスは個人情報保護教育を重視し、個人情報保護方針、個人情報保護規程等を中心に全従業員に教育を推進しました。2008年度は3つのマネジメントシステム（ISO9001・ISO14001・JISQ15001）同時教育を実施しました。



● プライバシーマーク

### 2008年度「教育資料」

#### 個人情報保護に関する当社規程・マニュアル類

1	個人情報保護方針	5	施設設備管理要領	12	個人情報管理関連法令・ガイド
2	個人情報保護規程	6	情報システム一般要領	13	リスク評価マニュアル
↑ 上位文書 ↓ 下位文書)		7	情報管理一般要領	14	個人情報取扱一般マニュアル
1	個人情報保護役割一覧	8	個人情報インシデント管理要領	15	個人情報取り扱い契約
2	個人情報保護運用要領	9	個人情報関連業務委託管理要領	16	ウィルス対策マニュアル
3	個人情報取扱要領	10	個人情報問い合わせ受付マニュアル	17	直接書面同意書
4	社員情報管理要領	11	個人情報保護文書管理要領		

### シーレックス個人情報保護方針

#### ○ 基本理念

当社は、創業者の精神・伝統の原点である「創造（クリエイティブ）」という企業理念に基づき、新しいサービス、新しい価値を創造してまいりました。この企業理念実現の基盤の一つとして、当社は、社会の一員として企業の社会的責任を果たすことが非常に重要な活動であると考えております。

今日、個人情報保護は企業としての重要な社会的責務であり、当社においても最も重要な活動の一つとして位置づけ、当社の事業ドメインである、シール印刷に関連したサービスや商品提供において、個人情報保護活動は、社会的責任を果たすだけでなく、お客様のみならず、あらゆるステークホルダー（利害関係者）に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造であると考えております。

このため、当社では、個人情報保護についての「個人情報保護マネジメントシステム」を制定し、お客様やステークホルダーの皆様の個人情報の適切な管理と保護を行い、その信頼にお応えいたします。

#### ○ 基本方針

1. 当社は、シール印刷等、当社の業務を遂行するために個人情報を取得する際には、利用目的を具体的に特定し、その利用目的の範囲内で利用及び提供を行います。  
また、本人から同意を得た利用目的を超えた利用又は提供を行う場合は、事前に本人の同意を得るものとします。
2. 当社は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。
3. 当社は、当社が取り扱う個人情報の漏えい、滅失、き損及び個人情報への不正アクセスを防止するとともに、それら個人情報保護対策の是正に努めます。
4. 当社は、当社が取り扱う個人情報に関する個人情報相談窓口を設置し、苦情、相談、及びその他問い合わせに適切に対応いたします。
5. 当社は、個人情報保護の活動を日々向上させるために、個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善を行います。

制定日：2002年11月11日  
改訂日：2006年10月10日  
シーレックス株式会社  
代表取締役社長 栗原 敦

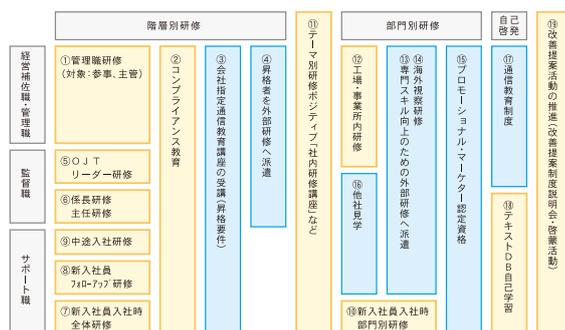
## 人財の開発・育成 -創造の源泉は人-

シーレックスは、シーレックスで働く人は「人材」ではなく「人財」として、これまで人の持つ無限大の可能性を信じて「企業の競争力の源泉は人」「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考えのもと、人を機軸においた経営、人を育てていくことを重視した経営を貫いてきました。「創造の源泉は人」人財の開発・育成にこれまで以上に取り組んでいきます。

### 2008年度人財育成

2008年度経営計画の重点施策に基づき「人財育成の更なる強化」を推進するため、人財育成プログラムを充実させました。特に人財育成の要となる参事・主管職のレベルアップを図りました。

参事職・主管職に対する教育として、部門統括および部下指導に必要な知識・技能として、コミュニケーション能力の向上に取り組みました。また、企業が社会的な責任を果たすためには、社員一人ひとりが法令遵守と企業倫理の徹底が必要であり、コンプライアンス教育を継続して実施しました。2008年度の主な内容は次の通りです。



#### 1. コンプライアンス教育

全社員を対象にシーレックスで働く人全員が、知らなくてはならない、そして絶対守らなければならない、主要法令を中心にしたシーレックス、コンプライアンス（法令遵守）ブックを基に人権尊重、お客様保護、環境保護、社会貢献及び今年度から企業倫理を加え全事業所で教育を実施しました。

#### 2. 管理職研修

研修のテーマは「絆とは」「労働法の基礎知識」「コミュニケーション」の基本として、「書くこと」「面談」することを主要テーマとしました。特に面談するテーマについては、2005年に東京・東北・兵庫地区で実施したコーチング研修のノウハウを活かし、部下の目標達成に効果的な質問、傾聴指摘をし、その人が持っている能力や行動を引き出すための、面談スキルの向上を図りました。

#### 3. プロモーションアルマーケター

プロモーション・マーケティングは「ブランドの顧客開拓と維持のために、限定された期間に、消費者、小売業者あるいは卸売業者に向けた直接的購買動機づけを中心にするマーケティング活動である。」と定義されています（（社）日本POP広告協会）。当社の営業部門は、プロモーションアルマーケター認定資格試験に挑戦し、2008年度は12名が合格し、現在29名が資格を取得しています。

#### 4. 新入社員研修/フォローアップ研修

4/1-4の4日間、本社で11名の入社時の集合研修を行いました。「シーレックスの歴史」「コミュニケーション講座（外部講師）」「就業規則」「コンプライアンス教育」等、教育プログラムに則り実施しました。また、9/25-26に東北工場ではフォローアップ研修を実施しました。「仕事の進め方の基本（ビデオ視聴、質疑応答）」「グループワーク（できたこと、できなかったこと、今悩んでいること、今後の目標）」および工場見学を行い、理解を深めました。



新入社員フォローアップ研修

#### 5. 海外展示会への視察

毎年、海外の展示会に社員を派遣し、最新の技術・製品情報を収集し、業務に活かしています。ラベルエキスポ9/8～9/15（4名）、ドルツパ5/29～6/5（2名）、CES国際家電ショー1/8～1/13（1名）と、合わせて7名を海外展示会に派遣しました。

#### 6. 通信教育講座の受講

自己啓発の通信教育に上期・下期合計で315名が受講しました。前年の225名を大幅に上回りました。

また、当社では会社が指定した通信教育講座の修了を昇格要件のひとつとしています。2008年度は昇格要件の通信講座に70名が受講しました。



#### 7. 改善提案制度

2008年度（1～12月）に提出された改善提案件数は、3017件でした（前年比+642件）。工場では1人、毎月1件ペースで提出されています。「ちょっとした違いを創り出す」には社員一人ひとりの改善提案が必要であり、次年度も引き続き社員に対する啓蒙を行います。

## 安全で安心な職場環境の実現 (社員とともに)

従業員が安全で安心して働ける職場環境を実現させることが、もっとも基本的な責任として、生産性を向上させる重要な要素として取り組んでいます。

### 基本的人権の尊重

あらゆる場面において個人の尊厳の確保に取り組むこと、および、人種、民族、国籍、宗教、性別、身体的特徴などを理由とした不当な差別をいっさい行わないことを「シーレックス・コンプライアンスブック」に明記しています。セクシャルハラスメントおよびパワーハラスメントの防止などを含めた基本的人権の尊重については、コンプライアンス教育のなかで啓発活動を継続しており、2008年度も全事業所で実施しました。

なお、児童労働・強制・義務労働に関しての問題は発生しておりません。



●コンプライアンス(法令遵守)ブック

また、セクシャルハラスメントおよびパワーハラスメントのアンケートは2005年度より行っており、2008年度は外部機関を活用し実施しました。アンケートの結果を各事業所の管理職にフィードバックし、セクハラ・パワハラ防止に努めております。

### 労働安全衛生

労使による安全衛生委員会(衛生委員会)を設置し、労働災害の撲滅をめざしています。具体的には、安全ヒヤリハットでの意見収集、安全のリスク評価と対策を実施しております。

労働災害の件数も低下傾向であり、2008年度は休業災害の発生はありませんでした。労災事故「ゼロ」の実現、「危険ゼロ」への挑戦へ今年度も取り組んでいます。

### 健康管理・健康増進

疾病の予防と早期発見、健康保持増進を目的に定期健診の実施と検診結果に基づく産業医、管理衛生士による健康指導を行っております。

また、生活習慣病の羅漢を未然に防ぐためにも、社員一人ひとりが生活習慣の現状を振り返り、行動変容を実践し得るよう、自ら「健康宣言」を行い、生活習慣の改善に取り組んでいくことです。



今年度も印刷健康保険組合が提唱する「健康宣言チャレンジ」に参画し、健康の保持増進を図っていきます。

### メンタルヘルス

従業員の健康対策の一環として、2006年度から外部機関を活用し、メンタルヘルス診断を実施しております。2008年度は「心とからだの健康チェック」の項目を増やし、シーレックスグループで働くすべての従業員に実施しました。診断結果は前年よりも改善が認められております。今回の診断結果に基づき、12月に「メンタルヘルス研修」を行い34名が出席しました。今年度も「心とからだの健康」に取り組んでいきます。



### AED(自動対外式除細動器)

2007年度に導入したAED(自動対外式除細動器)の取扱いについて、「助かる命を助けるため」をスローガンに、「普通救命講習会」を各事業所で開催しました。講習会

「習会」を各事業所で開催しました。講習会受講終了者は57名から77名に増えました。



### 防災対策

シーレックスは災害が発生した時の従業員および顧客の安全確保、家族への支援、地域住民への支援と事業所の復旧対応を目的として、事業継続計画(BCP)を策定しています。2008年1月には首都圏直下型地震・12月には新型インフルエンザを想定したBCPを策定しました。

また、不幸にも被災した場合は、被害を最小限に留めるためには、被災状況をいかに迅速・確実に把握して、どれだけ早く企業活動を復旧させるか、従業員とその家族の安否が確認する「安否確認」システムの導入を図りました。

2009年度 シーレックス事業継続計画に沿った訓練の実施と運用の見直しを行い、事業継続マネジメントとして展開していきたいと考えております。

2005年に作成した「シーレックスサバイバルカード」の見直しを行いました。

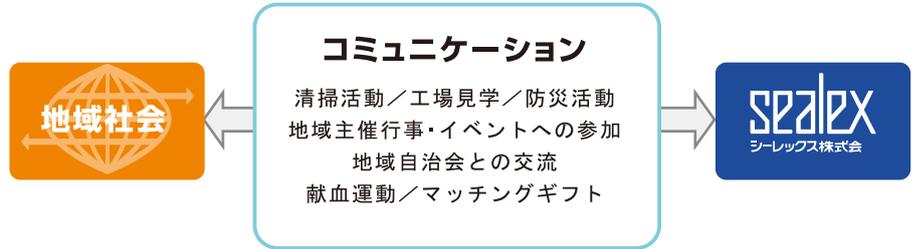


## 社会・地域社会貢献活動 (地域とともに)

私たちは、良き企業市民として、地域の皆さまと良好な関係を築き、地域社会との共生を図っていくことが重要な活動ととらえています。

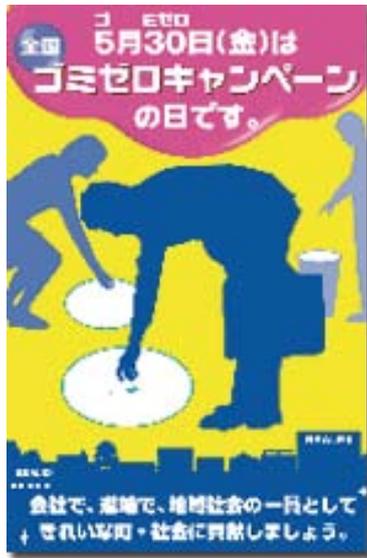
### 地域社会との共生

シーレックスの各事業所はさまざまな活動を通じて地域社会とのコミュニケーションを深めています。環境美化の一環としての事業所周辺の清掃、献血、工場見学や実習生の受け入れ、地域主催のイベントへの参加等、地域に根ざした活動を展開し、企業市民として地域社会との共生を図っています。



### 全社一斉清掃530活動

シーレックスは2008年度に5月30日を「ゴミゼロ」とし、全社一斉の清掃日と定め、クリーンキャンペーンを実施しました。活動をご紹介します。



大阪支店・SLX大阪



東北営業賞・東北工場



兵庫工場



京都営業所



いわき営業所



本社



名古屋営業所



東京工場

#### 清掃活動

- ・1回/月 事業所周辺の清掃を実施 (大阪支店・SLX大阪)
- ・足立区門掃き支援活動 毎月第2、第4水曜日 100m四方の清掃活動 (東京工場)

### 近隣の小学生の工場見学

兵庫工場では十数年前から市内の小学校2～3校100名程の工場見学を受け入れています。地元の小学校では恒例となっており、子供たちも楽しみにしているようです。今年は「子供の時に来たので懐かしい」という引率の先生もおられたようです。



### マッチングギフト

今年もNHK歳末たすけあいに、従業員から10万円、会社から10万円、計20万円をマッチングギフトとして寄付しました。



### エコキャップ運動の推進

ペットボトルのキャップを分別回収し再資源化を促進することにより、CO2の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却額で世界の子どもたちにワクチンを届ける、「地

球に愛を 子どもに愛を」エコキャップ運動に取り組んでいます。





シーレックスグループは常に「“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。

## 環境マネジメント活動

私たちは1999年4月にISO14001認証を取得、2005年4月にISO14001:2004をシーレックスグループで取得しました。2009年1月には維持審査が行われ、現在12事業所が登録を行い、環境保全活動を重要なテーマとして取り組んでいます。



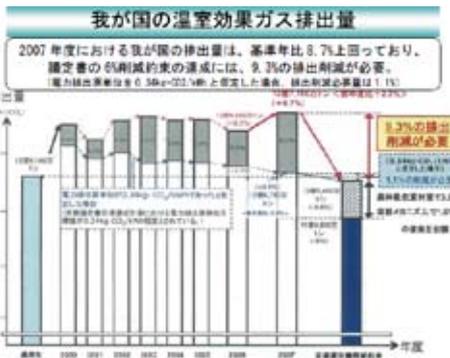
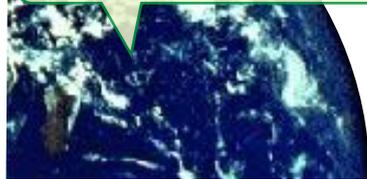
QMS EMS  
ISO 9001:2000  
ISO 14001:2004  
JSAQ1406, JSAE108

●『ISO 14001』JIS Q 14001を10サイトで認証取得

## 環境教育

地球温暖化の深刻な状況、京都議定書と我が国の温室効果ガスの排出量、チーム-6%の具体的な取り組み内容を研修および社内誌を活用し行いました。

アル・ゴアの不都合な真実  
・北極はこの40年で40%縮小、今後50年70年で消滅  
・南太平洋諸島やフロリダの大半は水没。上海で4000万人、カルカタでは6000万人が家を失う  
・巨大ハリケーンが増大、自然災害の激増  
・今後50年間に世界の40%の人々が深刻な飲み水不足  
この不都合の真実が消えるわけではない。放っておけばますます重大になる。



## チーム-6%



<100万人のキャンドルナイト>  
100万人のキャンドルナイトは、夏至の日に『電気を消してスローな夜を』と呼びかけるキャンペーンです。07年度は全国63,138の主要施設が消灯し、約300万kwtの電力削減につながりました。このイベントにシーレックスも参加しています。



## <クールビズ>

温室効果ガス削減のために冷房時の室温を28℃に。そんなオフィスで少しでも快適に過ごすため2005年度の夏にスタートしたのがクールビズです。シーレックスでもノーネクタイ等の軽装を奨励して夏場の電気使用量の削減に取り組んでいます。



## <環境提案>

毎年、7月を環境提案月間と定め、従業員からいろいろなアイデアを募集しています。2008年度は104件の提案があり、『エアコンの室外機に日よけをつけて夏場の電力消費を防ごう』という提案が出され、効果を上げました。



## 化学物質管理

当社が順守しなければならない化学物質に関わる法的要求事項および顧客さまの要求事項に対して明確にし、化学物質の管理を徹底させています

**化学物質**

REACH規制(新化学品規制)

RoHS(有害物質使用制限)指令

## グリーン購入の推進

私たちは、品質や価格だけでなく環境の事を考え環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入するグリーン購入について、シーレックスグリーン購入基準を定めて推進しています。



## エコフラッグ (GSA)

スポーツ愛好家は、きれいな水と空気、すなわち地球環境の大切さを知っています。そして、未来世代のためにも、開発やビジネスなどの人間活動が自然生態系を破壊し、環境を汚染しないような新しい社会を創りたいと願っています。そして、そんな強い思いを持った仲間たちが集ま

って設立したNPOがグローバル・スポーツ・アライアンスです。このGSAの運動の賛同し、2004年度からシーレックスは加盟し、各事業所で推進しています。



● グローバル・スポーツ・アライアンス  
http://www.gsa.or.jp/

## シーレックス環境方針

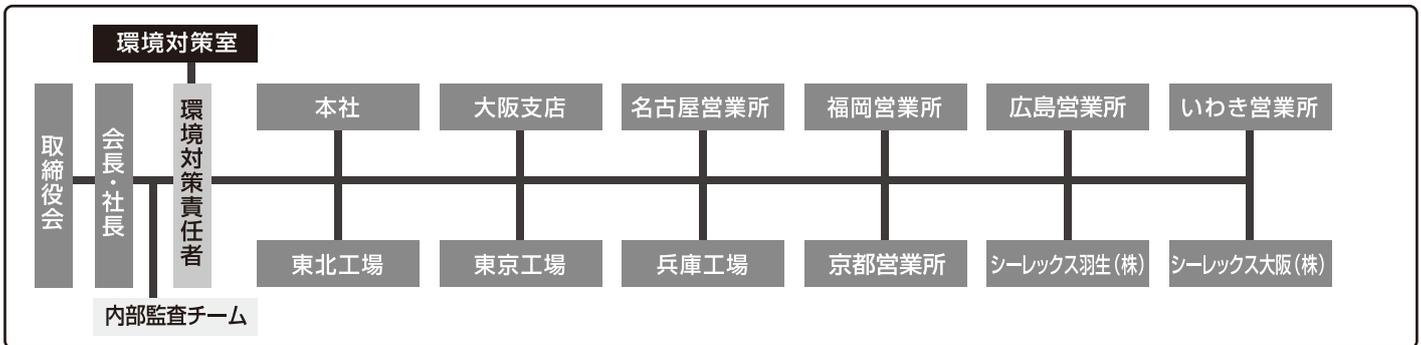
### ○ 基本理念

シーレックスは常に「かけがえのない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、事業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

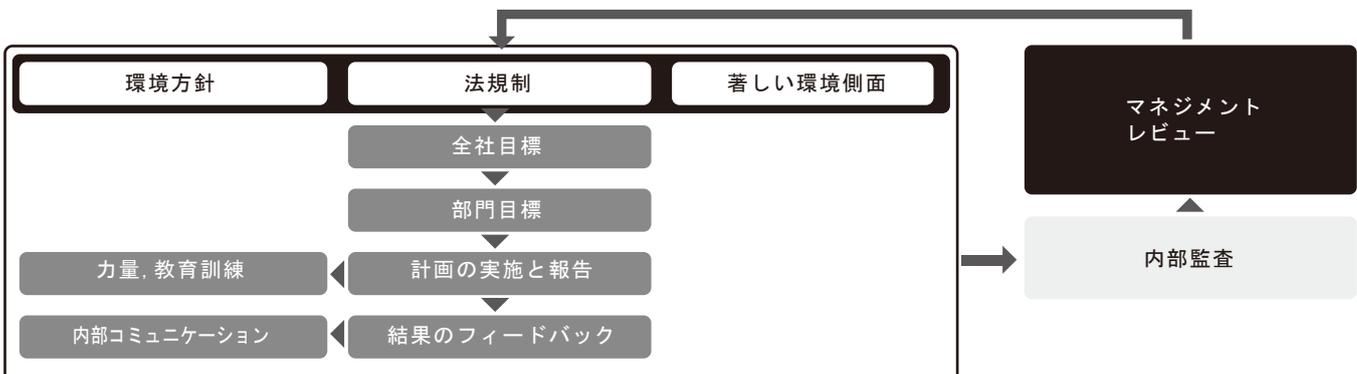
### ○ 基本方針

1. シーレックスは事業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
2. 事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
4. 事業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
5. 環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
7. 環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
8. 社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

## 環境マネジメントシステムの推進



● 環境マネジメント推進体制

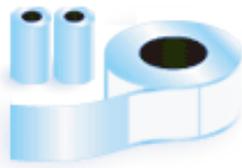


● PDCAサイクル

## エコプロダクト・環境配慮型製品

シーレックスは、企業の社会的責任（CSR）を果たすために、「地球環境との共生」を目的とした環境保全活動に取り組んでいます。再生材料の使用やリサイクル可能ラベルなど、環境への負荷低減に向けた環境配慮型製品をご用意しています。

### シーレックスの環境配慮型製品



#### 再生可能剥離紙

ラベルを使用した後に残る剥離紙を、産業廃棄物ではなく古紙として再生処理することができます



#### 生分解性プラスチックフィルムラベル

ラベル素材と糊の両方が植物由来の原料をベースに作られています



#### サーマルリサイクル

自社工場から出るタックラベルロス紙や剥離紙を固形燃料化し、発電用原料として再利用しています

## 環境ビジョン2008年度評価

シーレックスは環境方針の基本理念を達成するために具体的な活動の目標を示しています。

評価基準：数値化目標については下記の基準で評価

S：目標を大幅に上回る成果が上がった。

A：目標を十分に達成できた。

B：積極的に取り組んだが、目標に至らなかった。

C：取組みが不十分。

方針	目的	目標	評価
法規制の遵守	排水管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	A
	騒音管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	A
	特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	A
	使用禁止物質の購入規制管理を継続的に行う	・遵法制の評価実施	A
産業廃棄物の削減、リサイクル化	リサイクル化の推進	・リサイクル率を98%以上にする	A
		・廃棄物の分別、保管方法の維持推進を行う	A
	材料在庫を低減する	・材料在庫金額を2006年度比10%削減する	B
	製品在庫を低減する	・製品在庫を2007年度比10%削減する	S
多層ラベルの開発・拡販	多層ラベルの開発・拡販	多層ラベルの開発・拡販する	B
グリーン調達	エコカーの購入を推進	・エコカーの保有比率を100%にする	A
	グリーン購入を推進する	・グリーン購入基準の改善	A
		・グリーン購入の実施	A
リサイクル可能剥離紙の使用推進を行う	・再生可能な剥離紙をお客様に紹介する	A	
	・使用量を2006年度比10%に増やす	B	
C02の削減	C02排出量の削減	・売上高原単位で2006年度対比3%削減する。	A

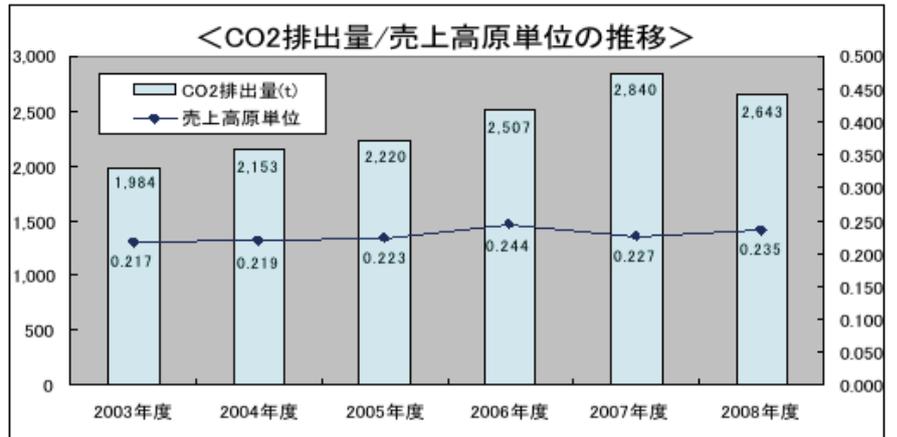
## 省資源・省エネルギーをはじめとする 環境負荷の低減に取り組んでいます。

2008年度はCO2の排出量で7%の削減ができました。産業廃棄物の排出量は前年横ばいという結果になりました。今後も継続してCO2および産業廃棄物の排出量の削減に取り組んでまいります。

### 省エネルギーへの取り組み

シーレックスは、二酸化炭素の排出量を抑制するため、省エネルギーに取り組んでいます。2008年度のCO2排出量は前年度対比7%の削減をすることができました。売上高原単位で見えますと、近年ほぼ同じように推移しております。今後とも省エネルギーを推進しCO2排出量の低減に取り組めます。

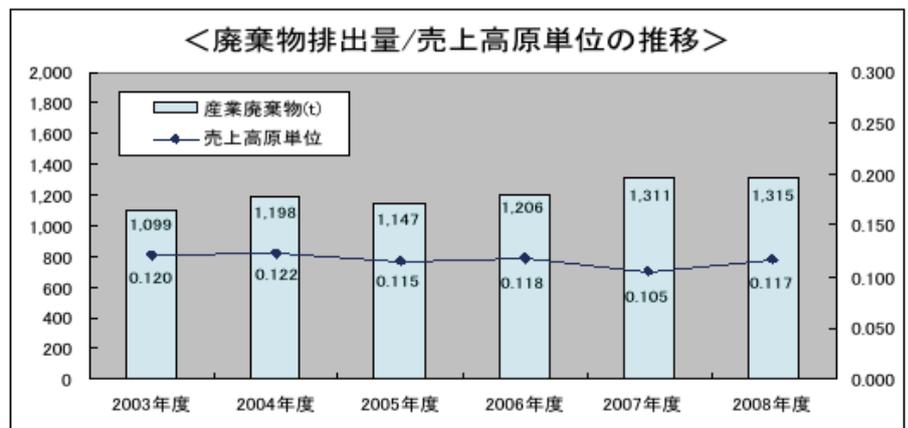
(注) CO2排出量は環境省の算出基準に基づく  
対象エネルギー：電気・ガソリン



### 廃棄物の再資源化への取り組み

シーレックスは、産業廃棄物の再資源化を推進するため、徹底した分別管理を行い、固形燃料化（RPF）に取り組んでいます。2006年度に全社でリサイクル率98%を達成し、今年度も高いリサイクル率を維持しております。2008年度の排出量は前年ほぼ横ばい、売上高原単位目標につきましては達成率90%にとどまりました。今後も継続して、産業廃棄物排出量の抑制に努めてまいります。

(注) 関連会社の数字は含みません



## 環境経営の推進

2009年シーレックスは環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を全社員の目標とし、環境負荷の低減できるすべての事項についてリデュース（減らす）に実践してまいります。



シーレックス株式会社 Sealex Corporation  
〒111-0052 東京都台東区柳橋1-1-11  
<http://www.sealex.com/>

お問い合わせ先

---

本社CSR推進室 TEL.03-3862-7255